

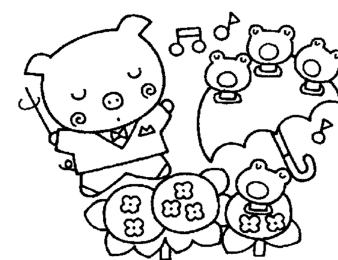
新着本案内 2025年6月号

ツインプラザ図書館 発行

TEL0279-76-3115

FAX0279-76-3116

こちらの新着情報は五月一日～三十一日までに入荷した図書が対象です。新着本案内発行時に貸出中の場合は予約をすることができます。
また、この情報は入荷したものの一部となりますので、お探しの図書がございましたら、図書館までご連絡ください。



【一般書 約一五〇冊】

「PCトラブル自力解決マニュアル」 日経PC21／編
「謙虚な人の作戦帳」 ジル・チャン
「新古代史」 NHKスペシャル取材班
「大器晩成列伝」 真山知幸
「文化財に泊まる。」 偏愛はな子
「最後の講義完全版」 姜 尚中
「「国境なき医師団」をそれでも見に行く」 いう せいこう
「新・貧乏はお金持ち」 橘 玲
「対話のトリセツ」 黒川伊保子
「定年後の仕事図鑑」 坂本貴志
「魔術の歴史」 ジョナ・リッツォ
「SFと空想の科学」 福江 純／監修
「分水嶺の謎」 高橋雅紀
「動物たちの江戸時代」 井奥成彦
「身近な薬物のはなし」 松本俊彦
「図解がんとお金の話」 黒田ちはる
「すべての病気が防げる長生き歩き」 青柳幸利
「クルマの最新メカニズム」 鈴木喜生
「アジサイの育て方」 川原田邦彦
「農家が教えるニワトリの飼い方」 農文協／編
「カフェをはじめの人の本」 成美堂出版編集部／編
「野村重存の世界一わかりやすい絵の授業」 野村重存
「らくご職業博」 相羽秋夫
「キャンプ大全」 ソトレシピ／編
「ゼロから俳句いきなり句会」 岸本葉子
「よりそう言葉」 五木寛之
「トットちゃんとカマタ先生のずつとやくそく」 黒柳徹子
「終わりに対話」 谷川俊太郎
「おうちキンパ」 重信初江
「愛されジェラート」 本間節子
「やさしい世界で生きてたい」 るしこ

「余生まんが」 山田英生／編
「映画じゃないんだから、うまくいかなくても大丈夫。」 ジェーン・スー
「ないもの、あります」 クラフト・エヴィング商会
「白薔薇殺人事件」 クリスティン・ペリン
「十二月八日・苦悩の年鑑」 太宰 治
「鏡面のエリクサー」 知念実希人
「記念日」 青山七恵
「温泉小説」 朝比奈あすか
「嘘と隣人」 芦沢 央
「亡霊の鳥」 阿部智里
「人よ、花よ、上下」 今村翔吾
「成層圏の墓標」 上田早夕里
「珈琲怪談」 恩田 陸
「札幌誕生」 門井慶喜
「YABUNONAKA」 金原ひとみ
「署長サスピション」 今野 敏
「ありか」 瀬尾まいこ
「たのしい保育園」 滝口悠生
「いつ？何時何分何秒？地球が何回まわったとき？」 田丸雅智
「普通の底」 月村了衛
「命みじかし恋せよ乙女」 辻 真先
「そういえば最近」 寺地はるな
「闇をわたる」 堂場瞬一
「口出し屋お貫」 中島 要
「交番相談員百目鬼巴」 長岡弘樹
「ああうれしい」 畠中 恵
「ヴァンパイア・シユテン」 福田和代
「最悪の相棒」 伏尾美紀
「団地メシ！」 藤野千夜
「それいけ！平安部」 宮島未奈
「もの語る一手」 青山美智子
「ミス・パーフェクトの憂鬱」 横関 大
「自分の弱さを知る」 野口聡一
「22世紀の資本主義」 成田悠輔
「多動脳」 アンデシュ・ハンセン
「掟上今日子の保険証」 西尾維新

【児童書 約九〇冊】

「AIのひみつ」 A. ツアーン
「色がきこえるおんなのこ」 マリー・ハリス
「しばいぬときせつのはん・おやつ」 村田夏佳
「ぼくの算数絵日記」 瀬山士郎
「新ざんねんないきもの事典」 今泉忠明
「けんちくつてたのしい！」 隈 研吾
「みんなをたすけるロボットずかん全3巻」 先川原正浩／監修
「たべっ子どうぶつをさがせ 劇場版」 たべっ子どうぶつ製作委員会／監修
「Q世代塾の問題児たち」 石川宏千花
「ふしぎながっちゃん」 斉藤 洋
「ペンギンのトビオ」 斉藤 倫
「妖怪一家九十九さん外伝」 富安陽子
「カトリと夜の底の主」 東 曜太郎
「にゅーつでたよでたよ」 長 新太
「パンダおやすみたいそう」 いたりやま さとし
「だいじょうぶかなさんかんぴ」 くすのき しげのり
「パトカーのうーたくん」 正高もところ
「あつゴジラ」 キューライス
「パンダのおさじとせっけんパンダ」 柴田ケイコ
「大ピンチずかん 3」 鈴木のりたけ
「まほうがいつぱい！」 たかお ゆうこ
「おんぷちゃんとふみきり」 とよた かずひこ
「ひつつきもつつき」 中川ひろたか
「ワレワレはアマガエル」 松橋利光
「バラクラバ・ボーイ」 ジェニー・ロブソン
「とびたて！みんなのドラゴン」 オザワ部長
「ぼくの色、見つけた！」 志津栄子
「マナティーがいた夏」 エヴァン・グリフィス
「鳥居きみ子」 竹内紘子
「「コーダ」のぼくが見る世界」 五十嵐 大
「わたしは食べるのが下手」 天川栄人
「スラムに水は流れない」 ヴアルシャ・バジャージ
「夜の日記」 ヴィーラ・ヒラナンダニ